



平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 ジェイコムホールディングス株式会社

コード番号 2462 URL <http://www.icm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡本 泰彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 我堂 佳世

TEL 06-6364-0006

四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年5月期第1四半期 | 3,120 | △26.8 | 120 | △54.6 | 158 | △49.3 | 98 | △50.9 |
| 25年5月期第1四半期 | 4,263 | △2.2 | 264 | 26.1 | 311 | 27.5 | 201 | 41.4 |

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 60百万円 (△71.1%) 25年5月期第1四半期 208百万円 (51.7%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 26年5月期第1四半期 | 10.78 | — |
| 25年5月期第1四半期 | 21.97 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 26年5月期第1四半期 | 6,410 | 4,933 | 77.0 | 537.82 |
| 25年5月期 | 6,225 | 5,011 | 80.5 | 546.25 |

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 4,933百万円 25年5月期 5,011百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 25年5月期 | — | 15.00 | — | 15.00 | 30.00 |
| 26年5月期 | — | — | — | — | — |
| 26年5月期(予想) | — | 15.00 | — | 15.00 | 30.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 第2四半期(累計) | 6,700 | △17.3 | 250 | △47.9 | 310 | △44.1 | 200 | △45.7 | 21.80 |
| 通期 | 15,000 | △1.3 | 800 | 0.1 | 920 | 1.5 | 600 | 0.1 | 65.40 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 26年5月期1Q | 9,806,000 株 | 25年5月期 | 9,806,000 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 26年5月期1Q | 632,065 株 | 25年5月期 | 632,000 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 26年5月期1Q | 9,173,997 株 | 25年5月期1Q | 9,174,000 株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出環境の改善や各種政策の効果の発現に伴い、企業収益の改善が家計所得や投資の増加に繋がり、景気回復へ向かうことが期待されております。雇用情勢についても、新規求人数が増加傾向にあり、完全失業者数が減少する等改善傾向が見られております。

当社グループの属する人材サービス業界では、派遣という労働形態に対するニーズが認知され、企業も派遣制度を使いやすくなるよう、厚生労働省において専門26業務の原則廃止、派遣期間の上限設定の業務ごとから個人ごとへの変更等が検討されております。また、当社グループの主要マーケットである携帯電話業界においては、各通信キャリアの販売競争の激化や商品・サービスの多様化に伴い、一人当たり接客時間が長時間化しておりますが、必要な業務知識・スキルの高度化により、販売職への希望者、顧客ニーズを満たす人材が減少し、深刻な人員不足が発生しております。

このような状況のもと、当社グループでは、求職者様に対し求人業務についての細やかな説明と、販売ノウハウだけでなく個人情報やマナー等就業前に社会人としての基礎研修を実施する等、求職者様の求人業務への関心を高め、さらに就業に際する不安を取り除くことで就業率の向上を図るべく、採用・研修機能の強化を図っております。また、人員不足の就業先が多く、稼働中のスタッフ様の負担が大きくなっていることから、就業環境の改善や、スキル・経験不足等の課題を早期に解消するため、一層スタッフ様に近い立場からフォローアップできるよう努めております。

当社グループの主要マーケットである携帯電話業界におきましては、通信キャリア各社が、顧客満足度向上と各種サービスの獲得増に邁進する中、販売員の育成・提供だけでなく、販売実績向上施策の企画・提案・実施に注力いたしましたが、前期に実施されました一部の通信キャリアにおける販売員の直接雇用化の影響を吸収することができず、減収となりました。

また、アパレル業界向けサービスについては、携帯電話業界向けに次ぐ第二の柱として、業界での知名度向上とともに大口顧客も増え、拠点の全国展開等の強みも活かし事業拡大に努めております。

持分法適用関連会社のサクセスホールディングス株式会社においては、東証二部上場会社の信用力と政策の後押しを受け、認可・認証保育園、学童クラブ等の開設、院内・学内・企業内保育サービスの受託拡大に邁進しており、保育士の確保が成長の鍵となっておりますが、ジェイコム株式会社が採用を代行することで、効率的な人材確保を図っております。

また、平成25年6月28日に、株式会社山善より、事務職を中心とした人材派遣・人材紹介事業、公共団体等から職業訓練を受託するビジネススクール事業を展開する株式会社エースタッフの全株式を取得し、連結子会社化いたしました。

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

| セグメントの名称 | 区分 | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日) | | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日) | | 前連結会計年度 (自平成24年6月1日 至平成25年5月31日) | |
|-------------------|-------|---|-------|---|-------|--|-------|
| | | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 総合人材 サービス事業 | 西日本地区 | 1,618 | 38.0 | 1,219 | 39.1 | 5,833 | 38.4 |
| | 東海地区 | 476 | 11.2 | 295 | 9.5 | 1,620 | 10.7 |
| | 東日本地区 | 2,021 | 47.4 | 1,459 | 46.8 | 7,116 | 46.8 |
| 小計 | | 4,117 | 96.6 | 2,975 | 95.4 | 14,570 | 95.9 |
| マルチメディア サービス事業 | — | 146 | 3.4 | 144 | 4.6 | 625 | 4.1 |
| 合計 | | 4,263 | 100.0 | 3,120 | 100.0 | 15,196 | 100.0 |

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高31億20百万円（前年同期比26.8%減）、営業利益1億20百万円（同54.6%減）、経常利益1億58百万円（同49.3%減）、四半期純利益98百万円（同50.9%減）と、計画どおりではあります。しかしながら、厳しい結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、余資資金の運用を目的として保有していた有価証券及び投資有価証券の償還等による減少1億26百万円があったものの、期末日が休日であり入金が増月になったこと等に伴う売掛金の増加87百万円、マルチメディアサービス事業における直営店舗の営業強化のための建設協力金の支出による増加38百万円、関係会社株式の取得等による増加45百万円等があったことから、前期末に比べて1億85百万円増加し、64億10百万円となりました。

負債につきましては、期末日が休日であり支払が増月になったこと等に伴う未払金の増加1億28百万円、預り金の増加1億48百万円等があったことから、前期末に比べて2億62百万円増加し、14億76百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上98百万円と配当金の支払1億37百万円等により、前期末に比べて77百万円減少し49億33百万円となり、自己資本比率は3.5ポイント低下し77.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移しているため、平成25年7月1日公表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,246,447 | 2,293,985 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,380,659 | 1,468,489 |
| 有価証券 | 400,426 | 300,846 |
| 商品 | 635 | 721 |
| その他 | 148,557 | 202,764 |
| 貸倒引当金 | △1,442 | △1,462 |
| 流動資産合計 | 4,175,284 | 4,265,345 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 59,161 | 56,300 |
| 無形固定資産 | 45,600 | 69,407 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 974,486 | 948,002 |
| 関係会社株式 | 648,612 | 694,104 |
| 差入保証金 | 149,622 | 166,430 |
| その他 | 174,230 | 212,452 |
| 貸倒引当金 | △1,395 | △1,395 |
| 投資その他の資産合計 | 1,945,557 | 2,019,594 |
| 固定資産合計 | 2,050,319 | 2,145,303 |
| 資産合計 | 6,225,603 | 6,410,648 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 90,619 | 76,982 |
| 未払金 | 849,019 | 977,190 |
| 未払法人税等 | 131,770 | 69,089 |
| 未払消費税等 | 22,127 | 128,770 |
| 賞与引当金 | 55,383 | 37,573 |
| その他 | 24,898 | 167,759 |
| 流動負債合計 | 1,173,819 | 1,457,364 |
| 固定負債 | 40,449 | 19,286 |
| 負債合計 | 1,214,269 | 1,476,651 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,360,285 | 1,360,285 |
| 資本剰余金 | 1,529,885 | 1,529,885 |
| 利益剰余金 | 2,782,620 | 2,743,914 |
| 自己株式 | △736,385 | △736,438 |
| 株主資本合計 | 4,936,405 | 4,897,646 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 74,928 | 36,350 |
| その他の包括利益累計額合計 | 74,928 | 36,350 |
| 純資産合計 | 5,011,334 | 4,933,997 |
| 負債純資産合計 | 6,225,603 | 6,410,648 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 4,263,677 | 3,120,087 |
| 売上原価 | 3,531,496 | 2,572,835 |
| 売上総利益 | 732,180 | 547,252 |
| 販売費及び一般管理費 | 467,644 | 427,092 |
| 営業利益 | 264,536 | 120,159 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6,425 | 4,101 |
| 受取配当金 | 695 | 2,626 |
| 信託受益権収益配当金 | 721 | — |
| 持分法による投資利益 | 36,719 | 22,671 |
| その他 | 2,676 | 8,785 |
| 営業外収益合計 | 47,239 | 38,184 |
| 営業外費用 | | |
| 長期前払費用償却 | 14 | 191 |
| 株式交付費 | 1 | — |
| 営業外費用合計 | 15 | 191 |
| 経常利益 | 311,760 | 158,152 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 10,109 |
| 特別利益合計 | — | 10,109 |
| 特別損失 | | |
| ゴルフ会員権評価損 | 6,656 | — |
| 特別損失合計 | 6,656 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 305,104 | 168,261 |
| 法人税等 | 103,565 | 69,357 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 201,539 | 98,904 |
| 四半期純利益 | 201,539 | 98,904 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 201,539 | 98,904 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,050 | △38,590 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △1 | 11 |
| その他の包括利益合計 | 7,048 | △38,578 |
| 四半期包括利益 | 208,587 | 60,326 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 208,587 | 60,326 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。